

2022年11月11日
パーソルチャレンジ株式会社

パーソルチャレンジ、LGBTQに関する取り組み指標「PRIDE指標2022」において 3年連続で最高評価「ゴールド」を受賞

総合人材サービスのパーソルグループ傘下の特例子会社で、障害者雇用支援事業を手掛けるパーソルチャレンジ株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：井上 雅博、以下パーソルチャレンジ)は、11月10日、LGBTQなどのセクシャルマイノリティ（以下：LGBTQ）に関する取り組み評価指標「PRIDE指標2022」において、3年連続で最高評価「ゴールド」を受賞しました。



■ PRIDE指標について

PRIDE指標は、任意団体 work with Prideが「企業・団体等の枠組みを超えてLGBTQ当事者が働きやすい職場づくりを日本で実現すること」を目的に、2016年に策定した評価指標です。企業・団体等におけるLGBTQに関する取り組みに対し、定められた指標を満たす数により審査されます。パーソルチャレンジはLGBTQ当事者がはたらきやすい環境作りのための指標をすべての項目で対応できていると評価され、3年連続で最高評価「ゴールド」と認定されました。

・PRIDE指標について（work with Pride事務局ホームページ）：<https://workwithpride.jp/pride-i/>

■ パーソルチャレンジのLGBTQに関する取り組み

パーソルチャレンジは、障害者を含むすべての人たちが制約に負けない柔軟なはたらき方を選び、自信をもってはたらける新たなはたらき方のスタンダードの創出を目指しています。LGBTQについても、身体特性や性自認、性的表現、性的志向を差別せず、多様な価値観を受け容れて尊重する職場環境や組織づくりに取り組んでいます。

(1)「アライ (Ally)」のコミュニティである「P-Rainbow」の活動推進

パーソルチャレンジでは、LGBTQ当事者に共感し、寄り添いたいと願う「アライ (Ally)」(※1)のコミュニティである「P-Rainbow」を中心に、社内における周知や啓蒙活動を行っています。

※1: アライ (Ally) : LGBTQ当事者への理解・支援を表明する人たちのこと

① 社内啓蒙・理解促進

社員の意識醸成のため、当事者社員や外部ゲストを招いたトークセッションや勉強会を定期的で開催しています。当事者が自身の生い立ちや日常生活で感じている生きづらさ、安心してはたらくために知っておいてほしいことなどを自由に語り、参加した社員からも好評を得ています。

また、企業の垣根を超え、広くLGBTQ当事者の理解を促進するため、他社との共同開催によるオンライントークセッションも開催しています。

② 社外向け啓発活動の推進

企業に対しては、昨年度より開催している「当事者の声から学ぶLGBTQセミナー」を通じて、基礎知識や採用のための基本的な考え方を紹介しています。今年度からは基礎知識にとどまらず社内への理解をどのように

深め、インクルージョンを推進していくための実践的手法について、当事者やP-Rainbowメンバーから紹介するセミナーを積極的に開催しています。

そして、誰もがはたらきやすい職場づくりを目指すため、当事者の方と、職場におけるダイバーシティについて考える座談会を実施しました。

・「LGBTQ当事者×障害者×はたらく」職場のダイバーシティを考える：

<https://doda.jp/challenge/contents/column/119.html>

(2) LGBTQ当事者かつ障害者のための転職・就職支援サービスを展開、1000名超が登録

パーソルチャレンジでは2021年3月より、LGBTQ当事者かつ障害のある方に対し、LGBTフレンドリー企業への転職・就職を支援する「LGBTQ当事者かつ障害者のための転職・就職支援サービス」を展開しています。障害による配慮だけでなくジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティに起因した不安や悩みを抱えた方に対し、専任のキャリアアドバイザーが、キャリアプラン設計や求人情報のご紹介などをご支援し、転職・就職上の不安を一緒に解決しています。

・LGBTQ当事者かつ障害者のための転職・就職支援サービス：

<https://doda.jp/challenge/service/support/rainbow.html>

現在までに1000名を超える当事者の方にサービス登録いただき、当事者の方からは「私にできることや、就職して実現したいことを親身になって聴いてくれ、それをどう話せば伝わるか、どういった言葉を選択することが有効か、などについて、一緒になって考えてくれた」「障害だけでなくSOGI（※2）の観点からも理解ある企業様を紹介いただけた」というお言葉を頂いています。採用された企業様からは「今回の採用をきっかけに、社内の理解をさらに広げたい」というお言葉をいただきました。

※2: Sexual Orientation（性的指向）とGender Identity（性自認）の頭文字で、セクシュアルマイノリティに限定した表現ではなく、誰にでもあ一人ひとりの個性、特性として捉えられる概念

(3) パーソルグループとしての取り組み

パーソルは、アジア最大級のLGBTQ関連イベント、「東京レインボープライド」の考えに賛同し2020年から協賛しています。今年、4月22日から24日の3日間、会場である代々木公園にブースを出展、「私らしいはたらく」をテーマに、800名以上のメッセージでレインボーアートが完成。最終日には「プライドパレード」にも参加し、多様な一人ひとりの「はたらいて、笑おう。」実現に向けたメッセージを発信しました。

・LGBTQ関連イベント「東京レインボープライド2022」に協賛し、ブースを出展！：

https://touch.persol-group.co.jp/20220518_12193



■PRIDE指標2022 ゴールド受賞にあたって

パーソルチャレンジ株式会社 人材ソリューション本部 人材紹介事業部 首都圏RA第1グループ マネジャー 並木 崇之（P-Rainbowメンバー）

昨年に続き今年もゴールドの評価を頂けたことは大変嬉しく思っています。企業様向けのセミナーでは、昨年よりも具体的な質問が多く、取り組みの重要性や課題感が強くなっていると感じています。目に見えないマイノリティに関して、当事者のカミングアウトを待つのではなく、企業主導で制度をまず作り、社員に対しては多くの人々の気持ちや考え方、アイデンティティを尊重し想像できる風土を醸成していくことが大切だと考えています。障害だけでなく、セクシュアルマイノリティということで制約を感じている方々がのびのびとほらける社会を目指して引き続き頑張っていきます。



<パーソルチャレンジ P-Rainbow メンバー>

■ パーソルグループのLGBTQ等の性的マイノリティに関する方針

パーソルグループでは、グループビジョン「はたらいて、笑おう。」実現のために、性的マイノリティ（性的指向および性自認）を含むあらゆる人々が自分らしく活躍できる組織を目指しています。当グループでは、性別、性的指向、年齢、人種、国籍、信条、宗教、障害などのさまざまな違いを尊重し、それらの違いを積極的に活かしていくことが大切であると考え、パーソルグループ行動規範を定め社内に周知するとともに、社外に公開しています。

※パーソルグループ行動規範：

https://www.persol-group.co.jp/corporate/governance/compliance/code_of_conduct.html

※パーソルグループのDI&Eの取り組みについて：

<https://www.persol-group.co.jp/sustainability/diversity/index.html>

■ パーソルチャレンジ株式会社について <<https://challenge.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループの特例子会社として、2014年10月の設立以来、障害のある方への個人向けサービスとして、「就職・転職支援」「就労移行支援」を、法人向けサービスとして、障害者雇用に関する多種多様な課題にお応えする「ワンストップソリューションサービス」を展開しています。障害者採用の成功ではなく、定着までを考えた“障害者雇用の成功”を目指し、障害者の自立および成長を幅広く支援しています。

■ 「PERSOL（パーソル）」について <<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、ITアウトソーシングや設計開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開しています。グループの経営理念・サステナビリティ方針に沿って事業活動を推進することで、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。

また、人材サービスとテクノロジーの融合による、次世代のイノベーション開発にも積極的に取り組み、市場価値を見いだす転職サービス「ミイダス」、テクノロジー人材のエンパワーメントと企業のDX組織構築支援を行う「TECH PLAY」、クラウド型モバイルPOSレジ「POS+（ポスタス）」などのサービスも展開しています。

本リリースに関するお問い合わせ先

パーソルチャレンジ株式会社 広報窓口 MAIL：inquiry@persol.co.jp